

令和4年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「短なわとび月間」において使用するカードを全学年で統一し、学校全体で体力向上に向けて取り組んだことで、児童は自分の体力を意識する機会が多くなり、意欲的に体力づくりや体育学習に取り組むことができた。また、「リズム縄跳び」を取り入れたことにより、楽しんで体を動かすことができた。
- ・様々な大きさのボールや高跳びのスタンド・バーなど、運動用具が充実することにより、一人一人の活動時間が増えた。意欲や関心の向上や運動量の確保につながった。
- ・学年が上がるにつれ、休み時間に積極的に外で体を動かして遊ぶ児童が少なくなる傾向が見られた。教師の声掛けにより外遊びに向かう習慣が身に付いてきた。

(2) 課題

- ・児童が日常的に運動に親しむために、さらに学校内の運動用具・運動環境を整備する。
- ・苦手意識のある児童が楽しさを感じられるように、授業では体を動かす時間を十分に確保する。また、段階的な学習活動を設定したり、用具や場を自ら選択したりするなどの工夫を行う。
- ・感染症が継続していることで、運動の習慣が身に付いていなかったり、運動から離れてしまったりする児童が多い。授業での活動時間（体を動かす時間）を十分に確保するように、授業計画を立てる必要がある。
- ・継続的に体力向上の取組、感染防止対策をとった授業の工夫（指導上の工夫や年間指導計画の見直し等）を考える必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動感覚を身に付けられるような運動遊びを多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用することで、児童が自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。 ・体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。 ・学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、児童の意欲を高め、休み時間や放課後、家庭等での運動につながるようにする。 ・運動遊びを多く取り入れ、運動の楽しさを味わわせるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な運動を通して、動きのポイントを身に付けさせるような授業を展開する。 ・「できる」経験や達成感を味わわせる工夫をし、運動の楽しさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用することで、児童が自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。 ・教師の声掛けや友達のアドバイスを多く取り入れるようにすることで、動きのポイントやこつを理解することができるようにする。 ・体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を図る。 ・身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。 ・学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、児童の意欲を高め、休み時間や放課後、家庭等での運動につながるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツを簡易化した活動を通して動きのポイントを身に付け、意図的に体を動かせるような授業を展開する。 ・「できる」経験や達成感を味わわせる工夫をし、運動の楽しさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用することで、児童が自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。 ・教師の声掛けや友達のアドバイスを多く取り入れるようにすることで、動きのポイントやこつを理解することができるようにする。 ・体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を図る。 ・身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。 ・学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、児童の意欲を高め、休み時間や放課後、家庭等での運動につながるようにする。 ・自分の課題に合った練習方法を選んだり、作戦を考えたりしながら学習に取り組めるようにする。